

【緑地を楽しむ本】

『つちづくり にわづくり』



外出をひかえなければならぬ状況が続いていますが、例年より桜の開花も早く、実は春がもうやってきているのですよね。

この本は、女の子とおばあちゃん(といっても、夏にはショートパンツ姿で水やりをしています)が、まだ春浅い頃

から土づくりをはじめ、主に野菜を育てていく様子が描かれています。

「お庭の菜園はどれもみな、『共同菜園』です。なぜだか、わかりますか？ いくらわたしたちが、タネをまいたり、草とりをしたりして、がんばっても、地面やそのしたで活躍する、『小さな庭師たち』がいなければ、花も野菜も、元気には育たないからです。」

いろいろな昆虫や動物とのかかわりが、季節の移り変わりとともに、おだやかに描かれています。

(遠藤)